

令和5年度 第1回 会津図書館協議会 議事録

日 時：令和5年10月25日（水）13：45～15：10

場 所：生涯学習総合センター 研修室2・3

出席者：委 員 9名出席

事務局 7名出席（会津図書館長、主幹1名、副主幹1名、主任主査2名、主任主事2名）

1 委員長、副委員長の選出

委員長 柴崎 恭秀 委員、副委員長 坂内 清一 委員

2 議 事（委員長を議長とし、進行）

（1）図書館要覧及び統計資料について

※事務局より報告

<質疑応答等>

議 長：事務局の説明に対し、ご意見・ご質問等をお願いしたい。

委 員：図書館統計のP.2に、新たに資料を購入したとあるが、新刊図書購入はどのように決定し、その後の広報について教えてほしい。

事務局：新刊を載せた「週刊新刊全点案内」という冊子を所長を含めた図書館職員全員で回覧し、取りまとめて発注している。また、その都度、利用者からのリクエストで必要なものは購入している。

広報は、毎週入った図書資料の背表紙の写真を撮り、新刊図書カート横に掲示したり、会津図書館ホームページと館内OPACで新着図書を検索できるようにしている。

委 員：要覧のP.25、令和4年度には「みんなで翻刻」という事業があるが、令和5年度の事業計画にはないがどうしてか。

事務局：令和4年度は講座を予定していたが、講師との調整がとれず実施できなかった。

令和5年度は講座は実施せず、「みんなで翻刻プロジェクト」に参加して、会津若松市デジタルアーカイブで公開している古文書の翻刻を進めている。来年度は、会津若松市デジタルアーカイブと「みんなで翻刻」ホームページをリンクして分かりやすく見られるように計画を立てている。

委 員：令和5年度予算が減額されているがどうしてか。また、要覧と統計の昨年度までの蔵書数が合わないのはなぜか。

事務局：「生涯学習センター管理運営費」の管理費が減額している。図書購入費は、「生涯学習情報提供事業費」であり、減額はない。また、蔵書数の件は、要覧には公民館図書館分は含れず、統計には公民館分を含むことから、一致していない。

議 長：他、ごございませんか。なければ、次の議事に進みます。

（2）令和5年度事業実施状況（上半期）について

※事務局より報告

<質疑応答等>

議 長：ご意見・ご質問があればお願いしたい。

事業実施状況で、団体の皆さんが大活躍なので、感想などをお願いしたい。

委 員：「おはなしのへや」については、もっとたくさんの子供達が来てほしいと思うし、

図書館に遠いところにいる障がいのある子供達にもっと来てほしいと思う。障がいに合わせたやり方で出来たらいい。

委員：「絵本の音楽会」の時は、募集定員に対して約2倍の募集であったが、それ以外は募集定員に対して約半分くらいから上で、もっと募集の宣伝が効果的にできればいい。また、参加が困難な方たちのところに、どうやってサービスを届けることができるかが課題である。

先日、「会津図書館を使った調べる学習コンクール」の審査を行ったが、「図書館を使った調べる学習体験講座」が開かれてる。講座に参加した子供達はだいたい応募しているのか。

事務局：年度によって多少のばらつきはあるが、講座に参加の子供達が全てが応募しているわけではない。1/4~1/3くらいの応募という印象があるが、結構上位で入賞することが多い。昨日決定した、低学年・中学年・高学年の部門があるが、低学年の市長賞の子は今年度講座に参加している。講座を受講された全ての子供達が応募しているというわけではないが、ある程度、取り組んで応募している方、またすぐではなくて、その翌年度応募することもあるので、こちらのほうもやはり継続していくことに意味があると考えている。

委員：ありがとうございます。講座参加者の半分くらいは頑張ってる応募していると思っていたが、1/4、1/3ということで、取り組んでいたけど途中で断念したという感じか、もう少し応募があるといい。

P.4にある「会津若松市デジタルアーカイブ」への、市民からの寄贈の受付は可能か。

事務局：今のところ、市民の方からの寄贈資料の公開はしていない。図書館には古文書や写真、絵葉書などを所蔵しており、まず図書館所蔵資料を中心に公開を進めている。

委員：例えば、貴重な資料を、市民の方が提供する場合、図書館ではなくて、教育委員会が窓口になるのか。

事務局：市民の方が寄贈する場合には、古文書か図書か写真かということで受入するが、図書館か文化課か、教育委員会内で調整して受入窓口を決めている。

委員：昭和4年に会津若松市が発行した会津若松市の観光パンフレットで非常に状態が良いものを所蔵していたが、昨年貸してまだ返してもらっていないので、図書館に寄贈するのを理由に返してもらおう。

事務局：是非、見せてください。

議長：他、ございませんか。なければ、議事を進ませていただきます。

(3) 子ども読書活動推進計画における令和5年度活動計画書について

※事務局より報告

<質疑応答等>

議長：何か質問はありますか。

なければ、議事の最後にも発言頂ける時間があるので、次に進みます。

(4) その他

議長：委員の方から何かありますか。併せて事務局から補足とか紹介などお願いしたい。

委員：事業実施状況の上半期ということで、P.6に企画展示があるが、いつも図書館に行った時にいいコーナーだと思っている。コーナーを充実することで、図書館の利用が増えてくると思う。例えば、4月にNHKの朝ドラの「らんまん」と共に図書館が展示した関係の本がすごく増えたということがあったら教えてほしい。時代にあった展示

をして読書層を増やすというのも一つの手だと思うので、お願いしたい。

事務局：朝ドラとか大河ドラマに合わせて本の展示をしたり、会津地方でロケをした作品のDVD、図書を観光課と連携して展示を行っている。実際に映画・ドラマを見た方が、借りることがあるようだ。あと、書庫にある本も展示することがあり、古い資料でも提供できる機会になっている。

議長：ありがとうございます。よろしいですか。

委員：図書館に立ち寄った際に、新刊コーナーで私の書いた「世界で一番優しいエコ住宅」の案内をしてくれていた。その時とても嬉しく思い、感動した。あの時は本当にありがとうございます。

議長：他、どうですか。

委員：いつも学校への支援ありがとうございます。今、各学校ごとに読み聞かせ活動を行っている。例えば、うちの小学校で読み聞かせグループのみなさんが一生懸命活動して、毎週くらい各学年に入って読み聞かせしている。読み聞かせは6年生でも、すごく興味をもって聞いてくれる。1、2年生は、もちろんだが、上の学年の子も「新しい本との出会い」が楽しみで、いつもより姿勢がいいと思って見ている。地理的なところもあり図書館には寄れない方へいろんな機会を企画しているのは非常に感謝したい。また、学校図書館支援員を通して、学校の調べ活動とか、まとめて本を貸し出しを行ってくれていることが、学校の授業に非常に役立っている。今タブレットもあるがやはり、実際の図鑑を“めくる”中での感触を得ながら学習というのを、すごく「デジタル」と「リアル」両方だと思う。いわゆる“感じる”というということを大事にしていきたい。本当に会津図書館には感謝している。

委員：大学で同じ経験をしていて、学生の前で読んで、いろいろディスカッションした。やはり読む機会が少なかったり、読んで初めてわかったとか、みんなで読んだほうがいいというのがすごくあった。大学でもそんな状況なので、小学校の高学年・中学校も含めて読み聞かせというのはありかもしれないし、活動も検討してほしい。

議長：他、いかがですか。

事務局：配付したチラシの紹介で、11月5日に会津ビブリオバトル、11月11日に会津図書館を使った調べる学習コンクールの表彰式を開催するので、委員の皆様に参加のお願いと、何かと話題の電子書籍の導入についてのご意見を頂戴したい。

委員：会津大学附属図書館、会津大学短期大学部附属図書館で電子雑誌閲覧サービスを導入した。理由はたび重なる経費削減。一部雑誌の購読を取りやめて、その代わり電子雑誌（dマガジン for Biz）を館内で読めるように切り替えをした。個人用と比べると公共図書館用は、1契約で資料ごとに複数の同時アクセスができ、若干の割安にはなり、経費削減になった。いろんな先生方にも意見をもらい、学生にもアンケートを実施した。割と賛成が多かったので、とりあえず、導入を開始した。お試し期間が2、3か月くらいあるので、その間無料で学生に読んでもらい、その反応をみてあまり良くなかったら中止し、反応が良かったら続けようということで、結果的にどちらの図書館でも継続したという経緯がある。雑誌の最新号1,200誌以上、バックナンバーを含めると3,000冊以上読める。

議長：委員のみなさんから何かありますか。

委員：「会津ビブリオバトル」では1位には副賞はあるのか。

事務局：「会津ビブリオバトル」では決勝に進める3名、チャンプ本は図書カード3,000円分、ナイスバトルで賞の2位・3位には2,000円分の図書カード。高校生には、ゲストとして図書カード3,000円分を副賞とする予定である。

議長：ありがとうございます。他、いかがでしょうか。なければこれを持ちまして議事を終

了します。

以上